

科目名	政治学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	越智 敏夫		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110001	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	政治を人間によって繰り返される行動のひとつとして理解し、その政治の網の目の中で私たちはどのように認識し行動すべきか、その基本的な方法について考える。現実政治のなかの時事的な出来事についても言及しながら、「市民」概念の現代的意義を特に議論したい。それらの作業は国際社会で必要な知識を身につけることにも強く結びついている。				
学修到達目標	各自の利害関係を前提としながらも、複雑な政治現象を科学的に認識する方法を身につけてもらいたい。好悪や損得以外にも政治を動かす原理があり、それを認識することで社会変革の可能性を責務として自覚する存在が市民である。市民となる方法を獲得することが本講義の目標である。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	1 はじめに 1-1 日常世界の認識方法：主体としての市民
第2回	2 政治とは何か 2-1 政治の定義
第3回	2-2 政治秩序

第4回	3 政治の認識方法 3-1 政治理論
第5回	3-2 状況・制度・組織
第6回	3-3 権力と支配
第7回	3-4 権威とリーダーシップ
第8回	3-5 シンボルとイデオロギー
第9回	4 国家とは何か 4-1 国家の概念
第10回	4-2 ヨーロッパにおける古代と中世
第11回	4-3 近代社会
第12回	4-4 近代国民国家の変容：夜警国家と福祉国家
第13回	5 政治体制 5-1 民主主義と独裁

第14回	5-2 政治システム
第15回	6 まとめ 6-1 市民の政治とは何か
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間 配布資料の予習
【復習】時間・内容	2時間 講義内容の確認、配布資料における不明点の理解

成績評価	
評価基準・方法	<p>成績評価については期末試験の点数のみで評価する。</p> <p>なお講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらおうが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点后、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。</p>
フィードバック方法	<p>講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらおうが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点后、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などに関して公開の必要があると判断されたものについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。</p>

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	教科書なし。参考文献は講義中に適宜指示する。また図書館のサイトの「指定図書リスト」を参照のこと。
受講上の留意点等	講義ノートを本学のウェブページ上で公開する予定なので、受講前に各自でプリントアウトして教室に持参すること。また、本講義は全カリキュラムにおいて政治的現象を学ぶための基礎となるものである。「日本政治論」「日本政治史」「国際政治学」「国際政治史」などを受講予定の学生は履修しておくことが望ましい。
JABEE	